VELTRA changes TRAVEL

2025年12月期 第2四半期 決算説明資料

FY2025 2Q Financial Results

ベルトラ株式会社　東証グロース市場：7048

目次

2025年12月期 第2四半期 決算概要

2025年12月期 第2四半期 事業別の状況と市場環境

2025年12月期 業績予想

中期経営計画及び今後の取組み

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

2025年12月期 第2四半期 決算概要

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

VELTRAについて

ベルトラはツアー・アクティビティ、アトラクション、移動手段など旅先での「体験」を軸とした
OTA(オンライン旅行)事業と交通・観光DXの２つの主要なトラベルテック事業を運営

OTA(オンライン旅行)事業

海外・国内のツアー・アクティビティ専門の
リーディングカンパニー

ベルトラ

VELTRA.com / HawaiiActivities.com

B to C

日本人旅行者を中核とする予約サービス

観光IT事業

国内最大規模の
交通・観光事業者のDXと販路拡大サービス

LINKTIVITY
リンクティビティ

linktivity.co.jp

B to B to C

企業向けに訪日外国人向けの販売支援を実施

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

P/Lサマリー

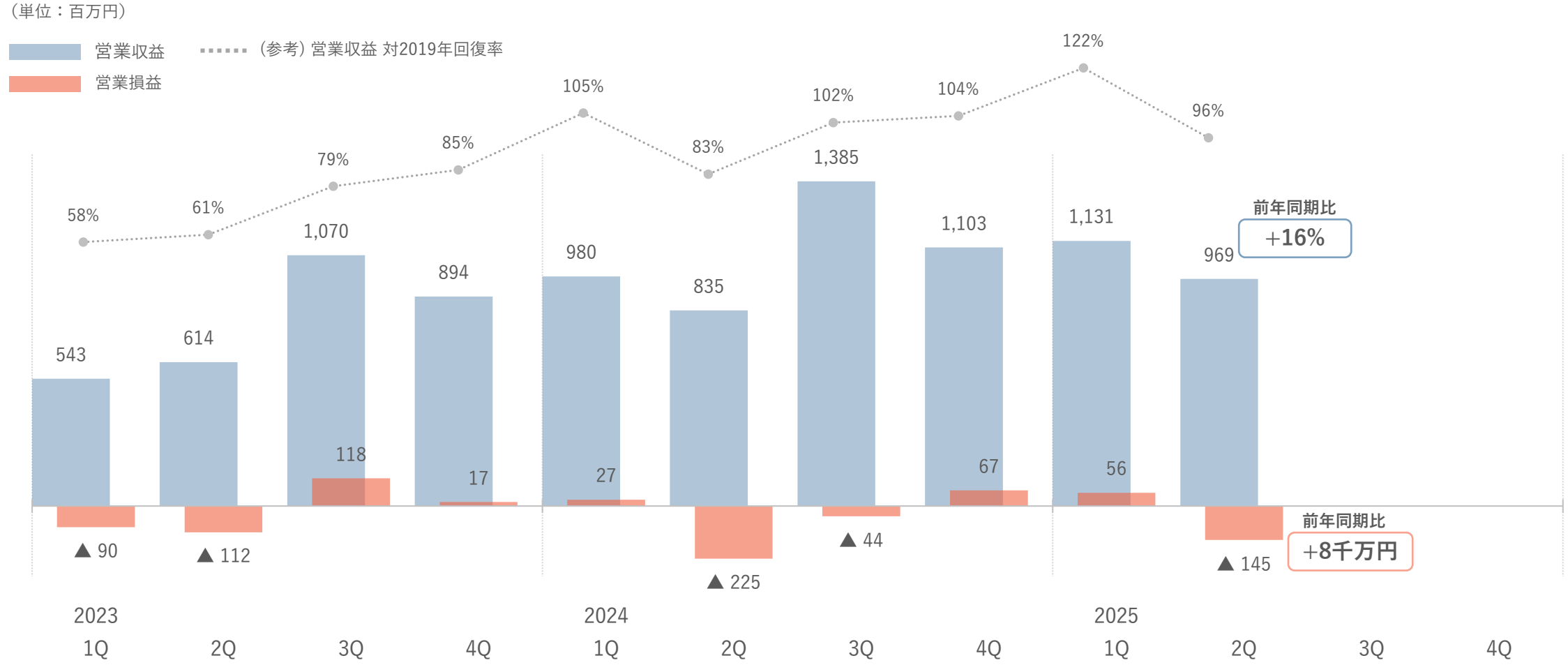
旅行需要の段階的な回復及び事業ポートフォリオの拡大を受け、トップラインは 前年同期比+15.7%に伸長
営業利益は前年同期比で改善し▲89百万円

単位：百万円	2024年12月期 2Q	**2025年12月期 2Q**	増減比	増減額
営業収益	1,815	2,101	+15.7%	+285
営業費用	2,013	2,190	+8.8%	+176
営業利益	▲197	▲89	ー	+108
営業外収益	1	29	+2,752%	+28
営業外費用	88	45	▲48.8%	▲43
経常利益	▲285	▲104	ー	+180
中間純利益	▲271	▲79	ー	+191
1株当たり 中間純利益(円)	▲7.46	▲2.17	ー	+5.29円

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

営業収益・営業損益　四半期推移（会計期間）

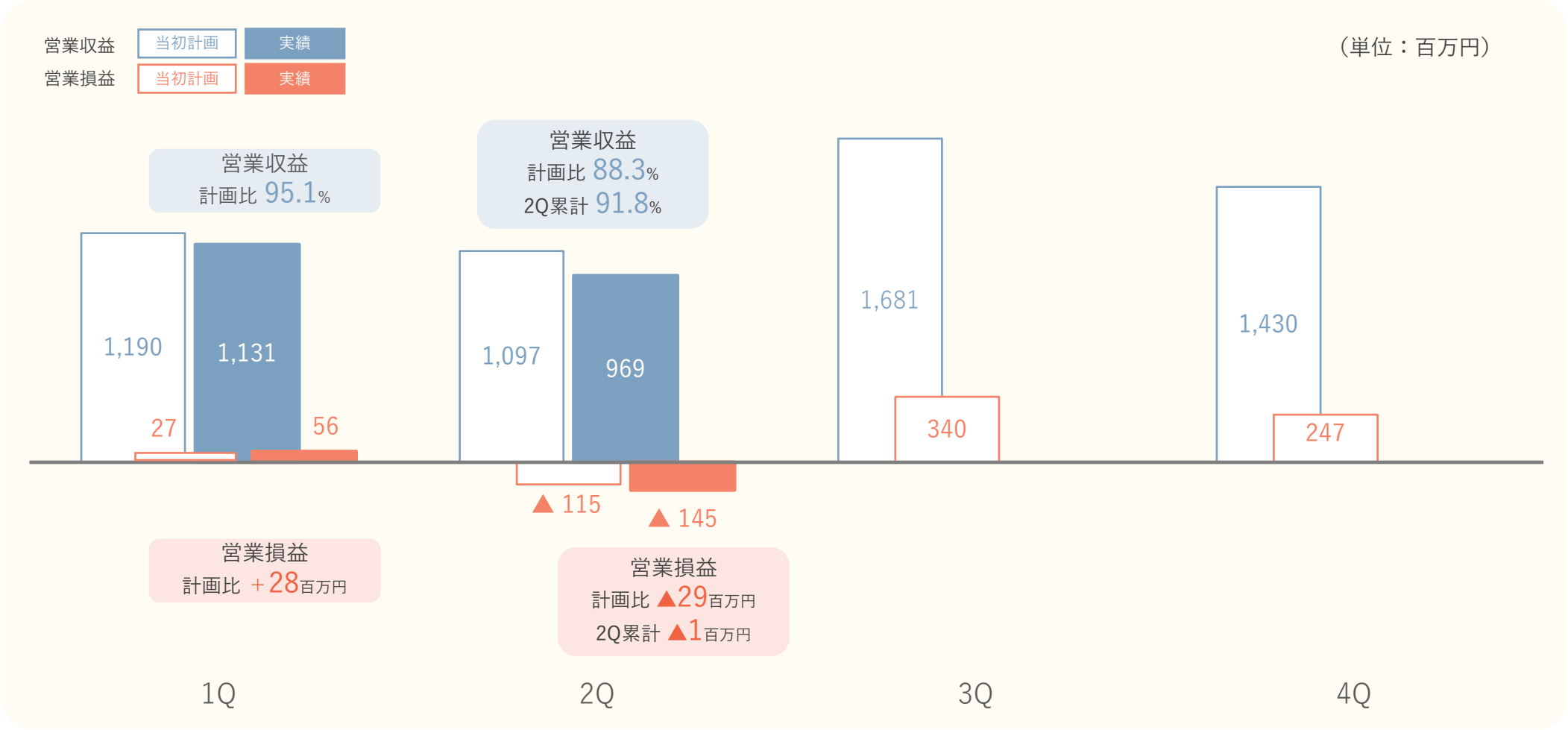
2Q単体での営業収益は前年比+15.7%の969百万円、 営業損益は前年比+8千万円回復の▲145百万円
第2四半期は旅行閑散期のため、計画上も営業損益はマイナス



Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

2025年12月期計画の進捗

2Q累計での営業収益は計画の91.8%で進捗、コストも計画比 92%と抑制
夏から秋シーズンの旅行需要増加を見越し3Q以降にて利益を確保予定

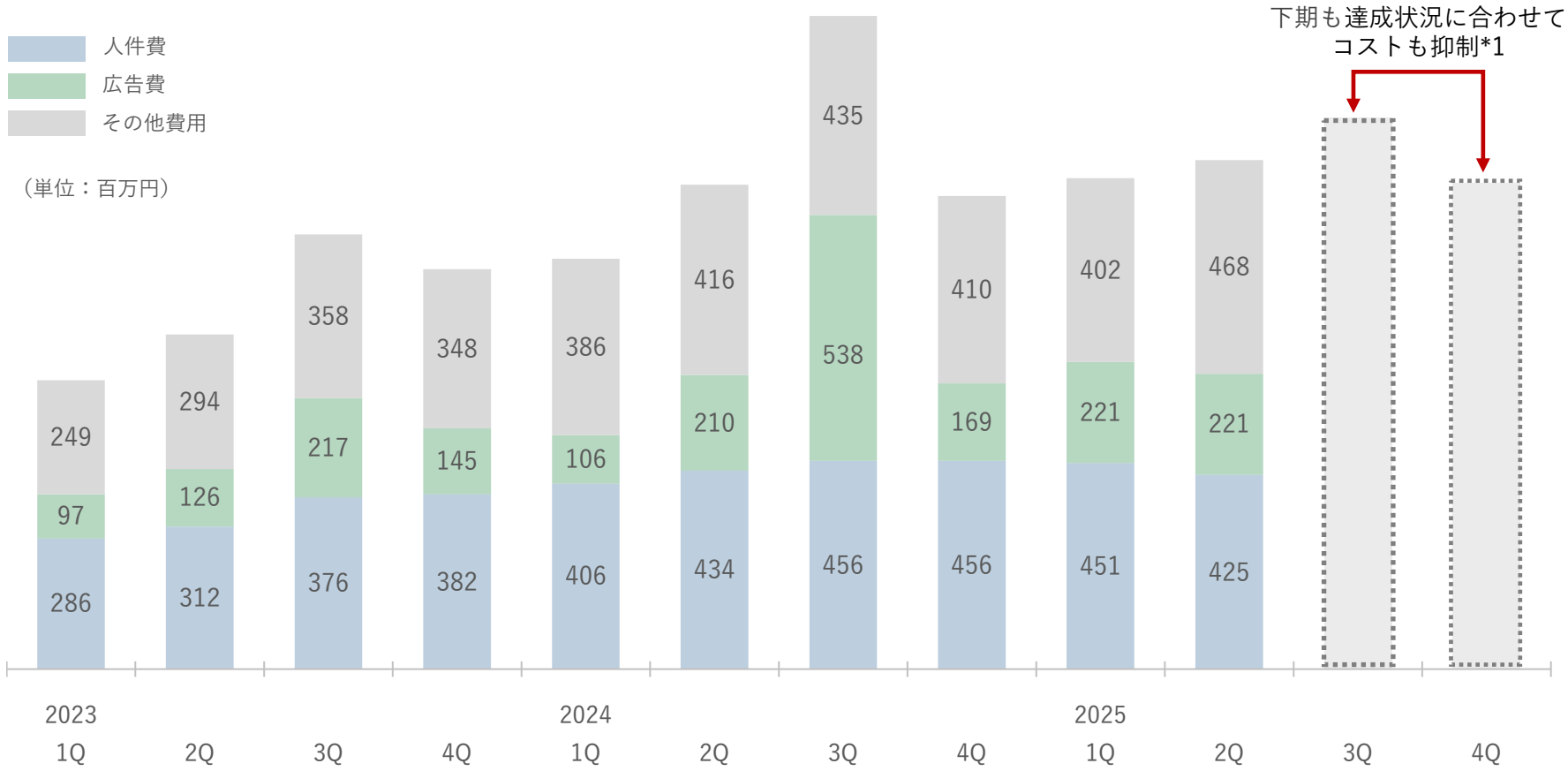


Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

コスト推移および計画

2Q累計でのコスト消化率は営業収益の達成状況を見ながら適切にコントロール
下期も達成状況に合わせてコストコントロールを実施

*1 Q3は繁忙期の為、広告費は一時的に増加。昨年実施した認知広告投資については今期は実施なし



コスト増減要因　（vs2024年 2Q）

人件費（▲9M）
・2024年下期の採用により人員数は増加するも2Qにおける人件費は 9M減少

広告費（+11M）
・集客に係る広告費はOTA事業の売上増加に連動して増加

その他費用（+52M）

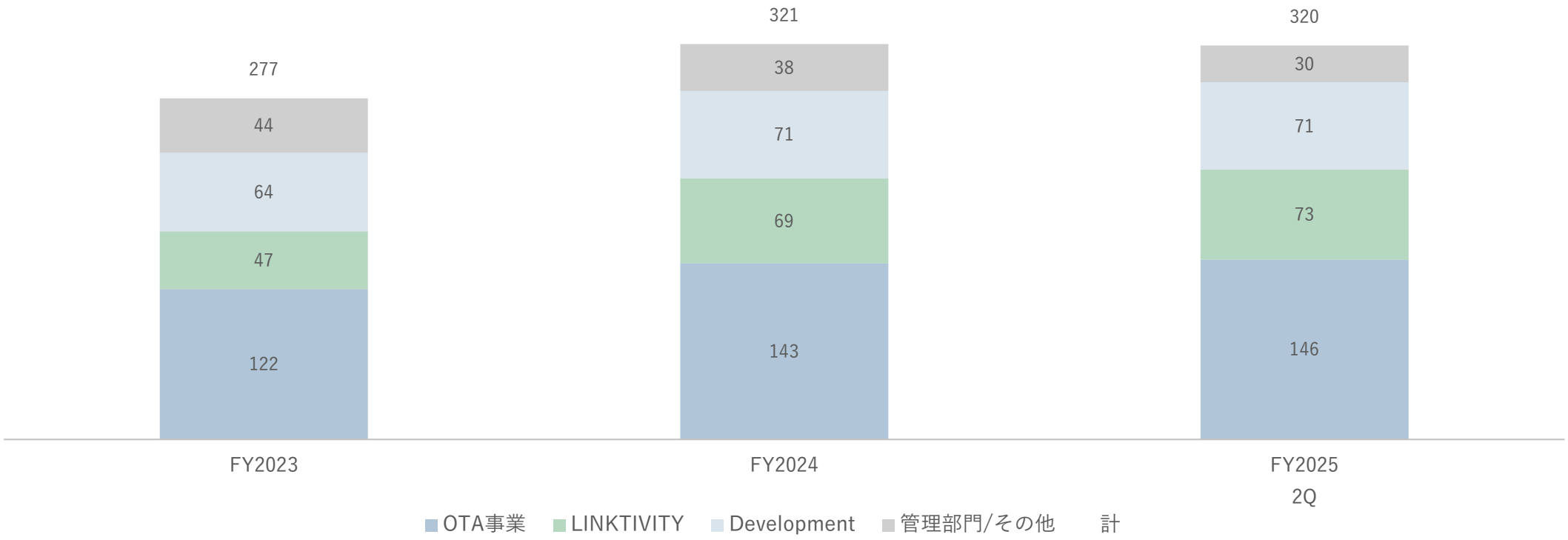
増加
・決済手数料 15M増加（売上増加 連動）
・通信費（サーバー費用等）28M増加
・ソフトウェア償却費 6M増加
・オフィス賃料　20M増加
・その他原価 30M増加

減少
・採用関連費用 23M減少
・その他　32M減少

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

人員推移

今年は昨年同水準の人員を維持、下期においてはリンクティビティの売上拡大による一部人員増を計画予定
またAI活用も含めた生産性向上施策を実施し、来期以降も売上増に連動しない組織改革を実施中



※ 2025年の集計より従来「管理部門/その他」に含めていたマーケティング部門の人員数(15名)をOTA事業に移管

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

B/Sサマリー

収益増加にともなう営業CFの改善により現預金残高は4.5億円増加の56億円

事業収益の更なる改善で顧客前受金残高が増加したことにより流動負債が5.4億円増加した結果、自己資本比率は2.8pt低下

単位：百万円	2024年12月期	**2025年12月期 2Q**	増減額	詳細
流動資産	7,846	8,123	+276	現預金が 453百万円増加、営業未収入金が 169百万円減少
現金及び預金	5,166	5,620	+453	
固定資産	738	828	+90	ソフトウェアが 97百万円増加
資産合計	**8,584**	**8,951**	**+367**	
流動負債	5,695	6,241	+545	前受金が 862百万円増加、営業未払金が 287百万円減少
有利子負債	0	0	0	
固定負債	0	4	+3	役員報酬引当金が3百万円増加
負債合計	**5,696**	**6,245**	**+548**	
純資産合計	**2,888**	**2,706**	**▲181**	親会社株主に帰属する中間純利益 79百万円の計上による利益剰余金の減少、為替換算調整勘定が 63百万円、非支配株主持分が 29百万円減少
自己資本比率	**29.1%**	**26.3%**	**▲2.8pt**	

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

C/Fサマリー

単位：百万円	2024年12月期 2Q	**2025年12月期 2Q**	増減額	詳細
営業活動による キャッシュ・フロー	696	714	18	前受金の増加 871百万円、売上債権の減少 164百万円などの増加要因と、仕入債務の減少 278百万円などの減少要因
投資活動による キャッシュ・フロー	▲233	▲539	▲306	固定資産の取得による支出 183百万円、定期預金の預入による支出等 360百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	1,881	0	▲1,881	財務活動による資金の増減はなし
換算差額	109	▲82	▲191	
現金及び現金同等物の 期末残高	6,148	5,259	▲888	

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

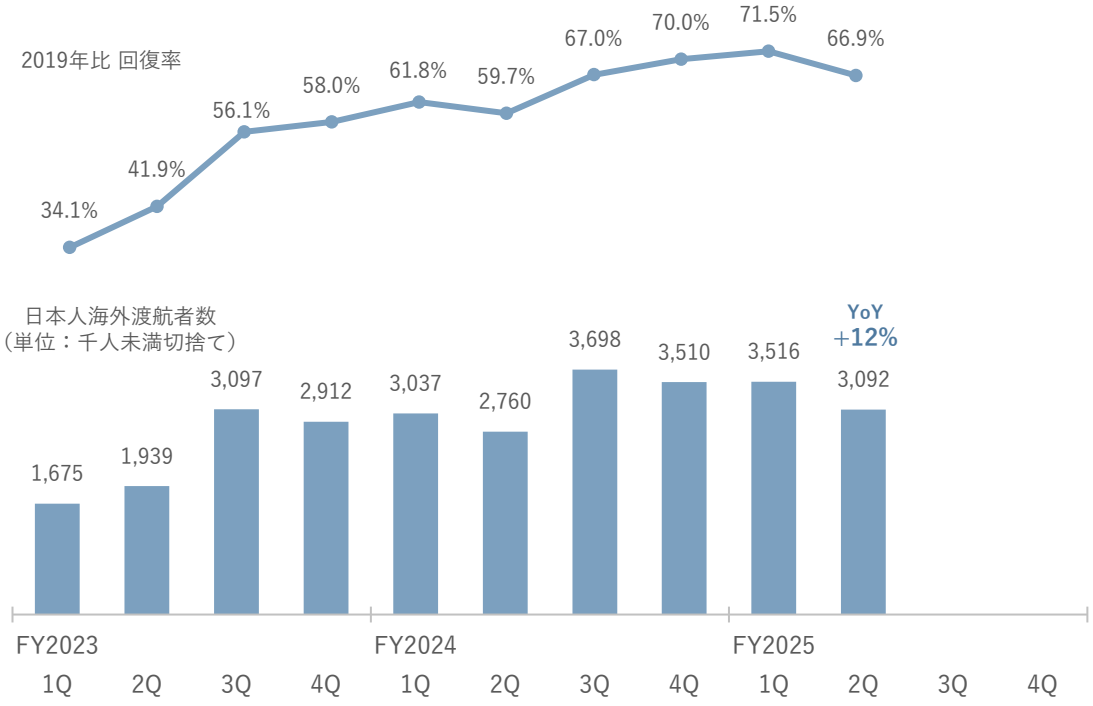
2025年12月期 第2四半期 事業別の状況と市況環境

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

外部環境

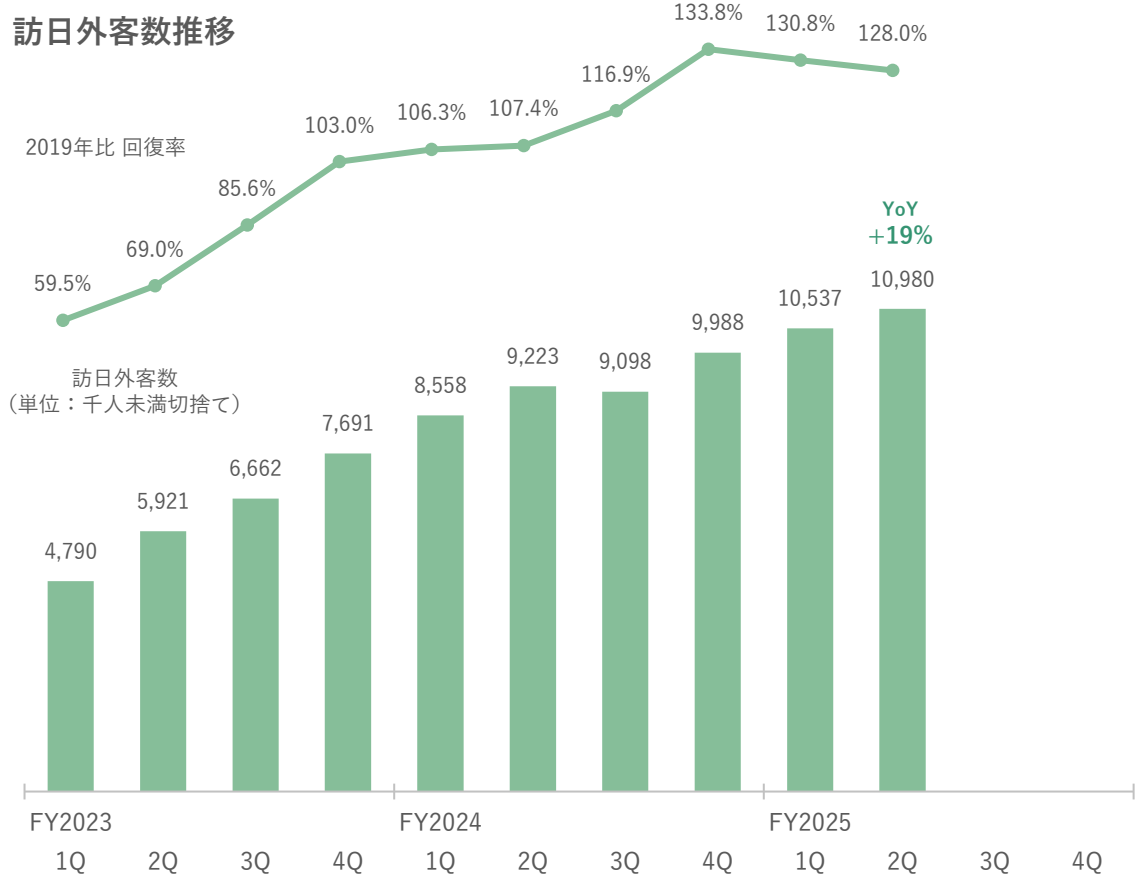
日本人出国者数は2019年比で7割弱と回復の道半ばであるが、YoYで+10%超の伸びを示す
訪日旅行者数は足元で鈍化傾向にあるものの、引き続き高い水準で増加

出国日本人数推移



出典: JNTO(日本政府観光局) - 出国日本人統計 -

訪日外客数推移



出典：日本政府観光局（JNTO） – 訪日外客数・出国日本人数 -

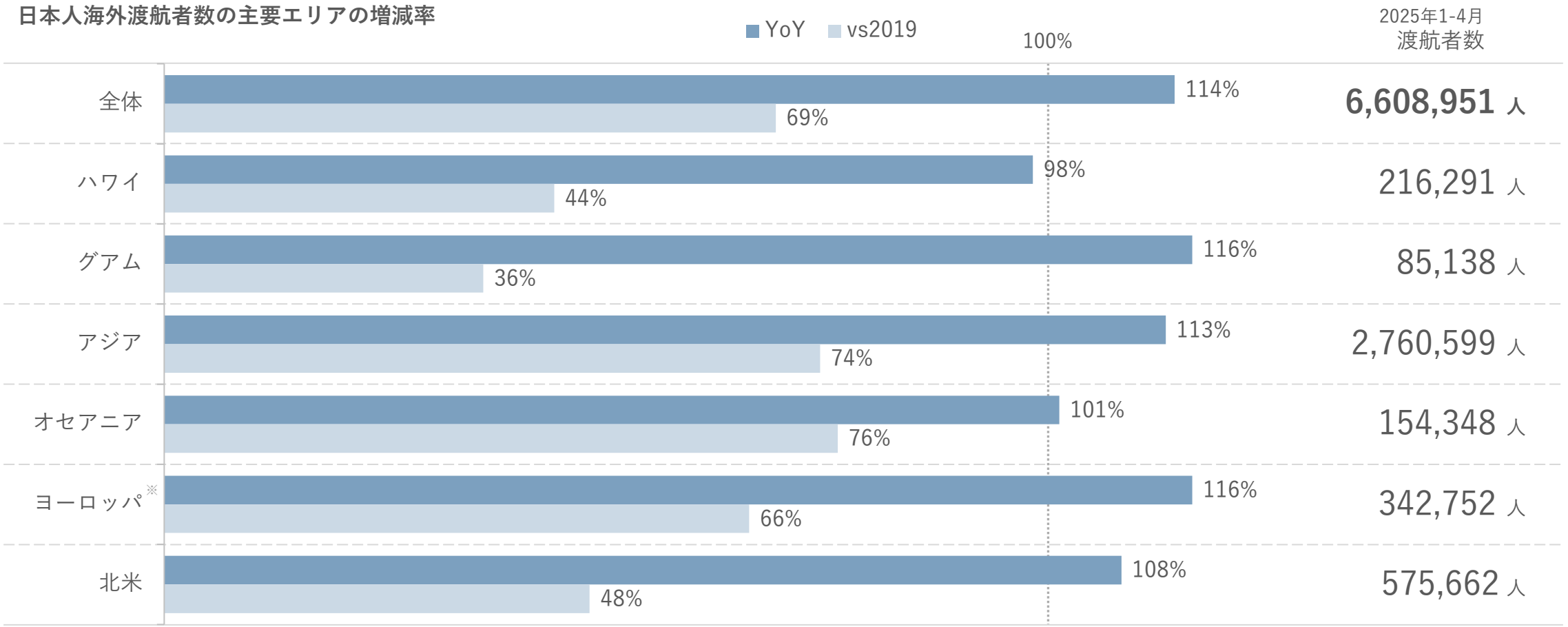
Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

外部環境（主要エリア別の日本人海外渡航の状況）

主要エリアにおける日本人海外渡航者数 動向（2025年1月 – 2025年4月）

昨年までのアジアに加えて、今年に入りヨーロッパへの日本人の海外渡航者数についても回復傾向にあるが、
引き続き当社の主力エリアであるハワイ、グアム及び北米に関してはいまだ低い水準で推移している

日本人海外渡航者数の主要エリアの増減率



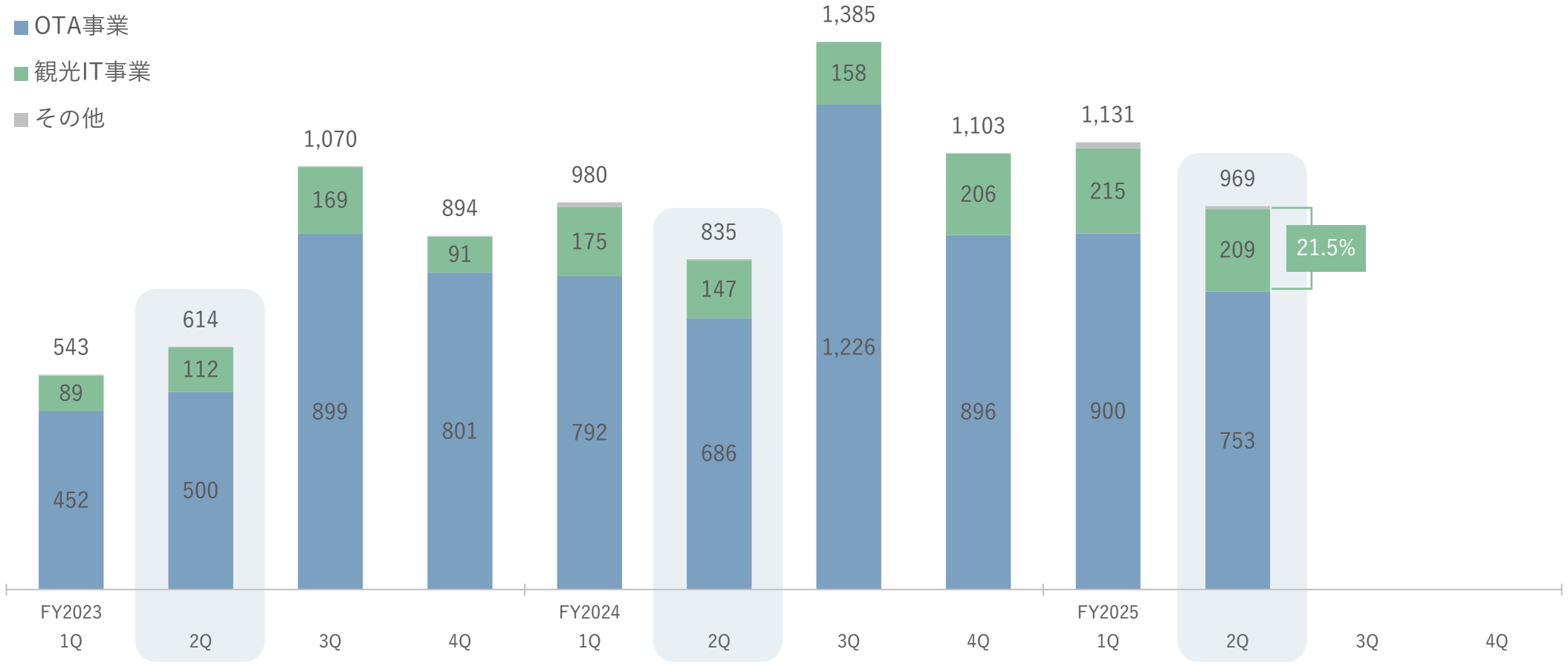
出典: JTB総合研究所 - アウトバウンド 日本人海外旅行動向 -

※ ヨーロッパは集計が行われている7ヶ国の実績をもとに算出

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

セグメント別営業収益 四半期推移

海外旅行や国内旅行、Hawaii Activitiesから構成されるOTA事業と、主にLINKTIVITYから成る観光IT事業の売上構成比において、季節性は存在するものの観光IT事業の割合が高まる傾向にある



※ 2025年12月期よりセグメント情報を開示するにあたり、これまで『その他』として管理していた営業収益の一部を『OTA事業 』へと集計区分を移管したことにより、事業ごとの収益金額を遡及修正しております
※ 各セグメントの営業収益の記載は、セグメント間取引を相殺消去する前の金額であります

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

2025年12月期第2四半期　セグメント業績

（単位：千円）	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間 連結財務諸表 計上額
	OTA	観光IT	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,631,373	424,988	2,056,361	44,917	2,101,278	-	2,101,278
セグメント間取引調整	4,509	6,332	10,841	-	10,841	△10,841	-
セグメント営業収益	**1,635,882**	**431,320**	**2,067,203**	**44,917**	**2,112,120**	**△10,841**	**2,101,278**
YoY	＋9.3%	＋36.7%	＋14.0%	+274.3%	+15.7	-	＋15.7%
セグメント利益	**245,646**	**△116,391**	**129,254**	**15,200**	**144,454**	**△233,524**	**△89,069**
YoY	+192.4%	-	+538.8%	-	+664.6%	-	-

※「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。
※ セグメント間取引の調整額は、セグメント間取引消去および、報告セグメントに帰属しない親会社の本社管理部門にかかる費用125,151千円が含まれております。

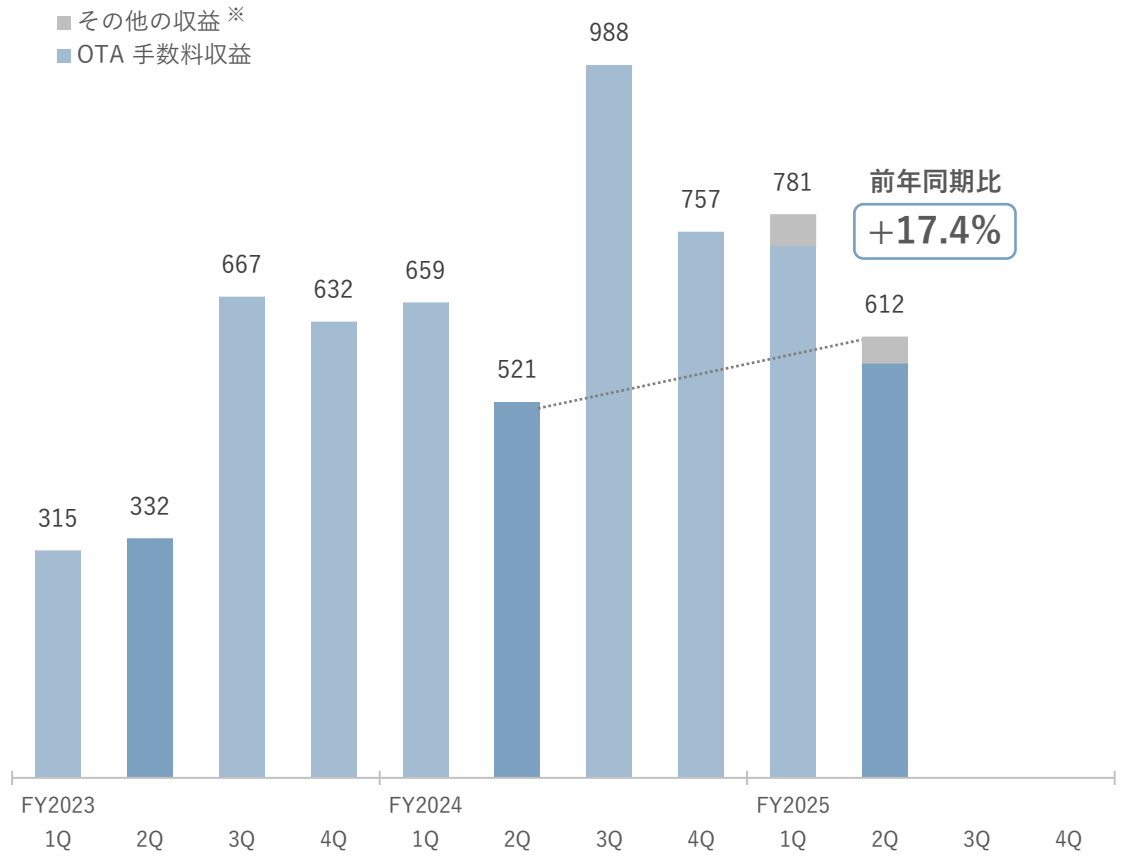
Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

事業別の状況　海外旅行

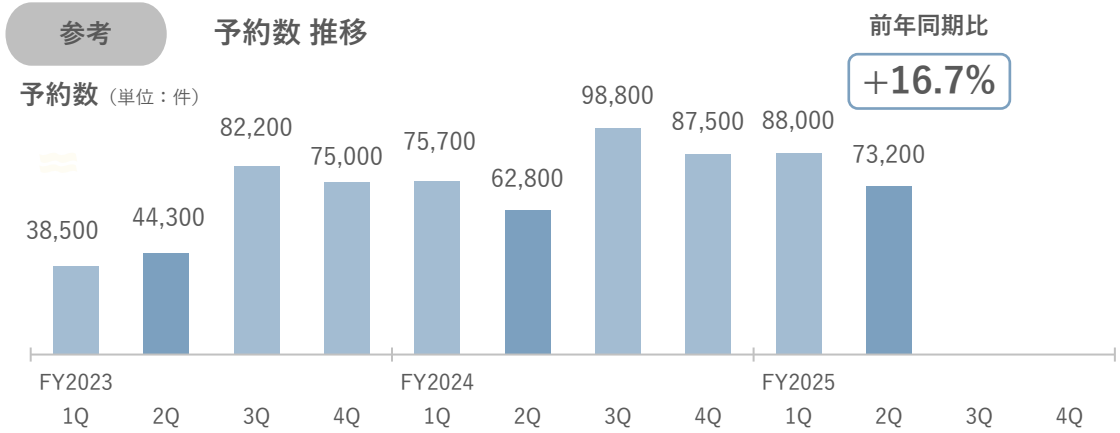
主力の海外旅行事業は海外旅行者数の昨年比+12%を上回る+17.4%の売上成長を実現。手数料収入だけでなく広告収入やB2B2Cの強化など新たな収益モデルも開発

実績　営業収益 推移

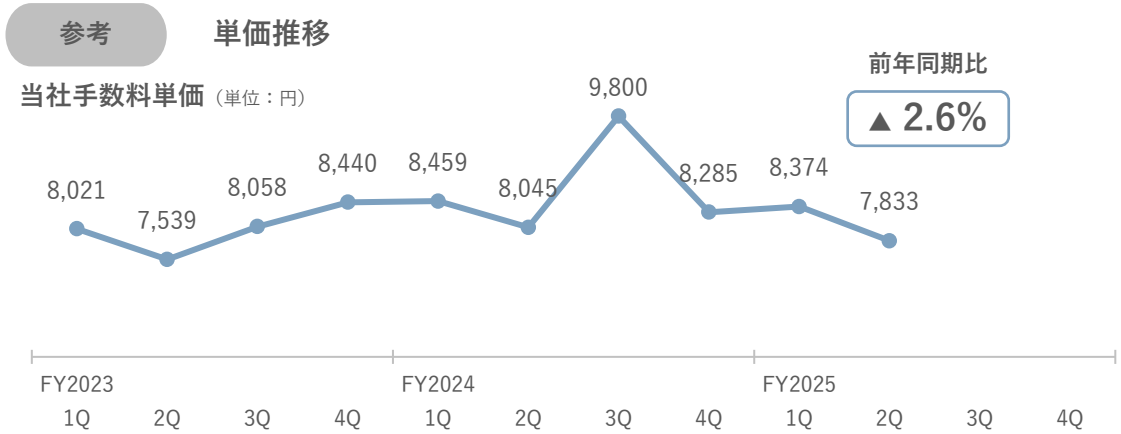
※ OTAの予約による手数料収入以外の収益として、政府観光局プロモーション案件や広告による収益獲得を推進



参考　予約数 推移



参考　単価推移



Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

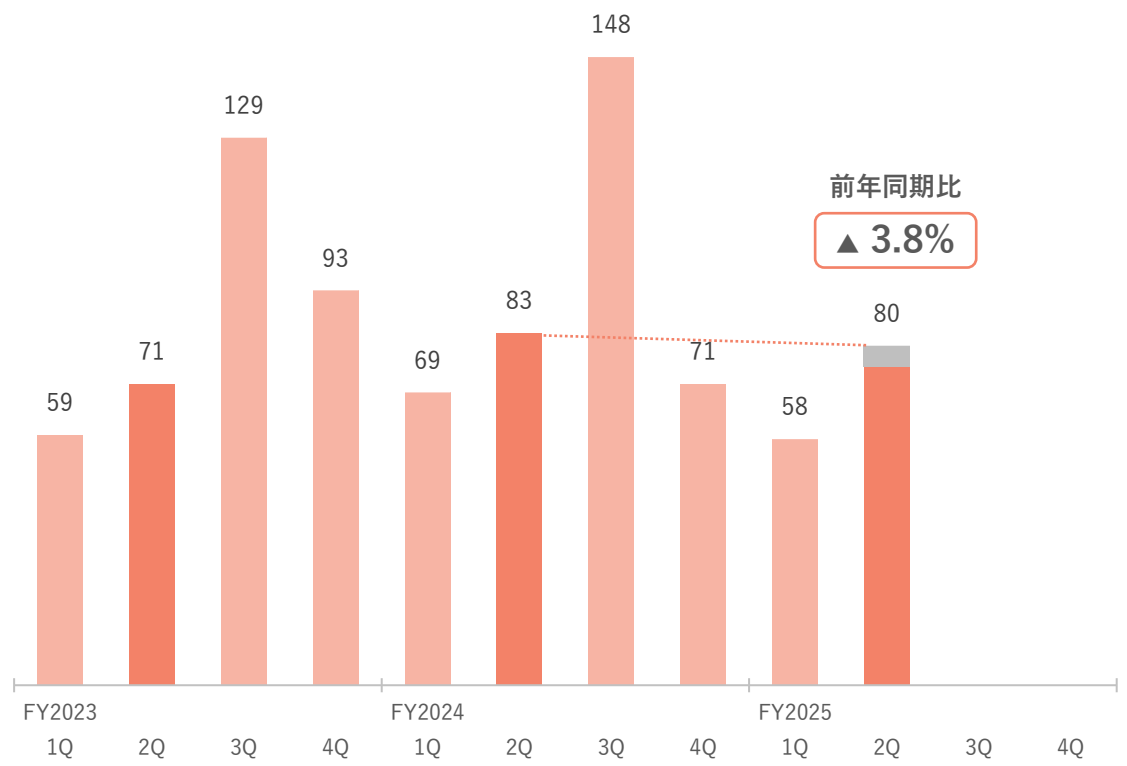
事業別の状況　国内旅行

生産性を向上を重視し、エリアの限定及び人員削減などを実施。利益率は向上しているが売上はマイナス傾向。
今後クルーズ寄港地観光やインバウンド向けのB2B販売など新たな市場開発を視野に戦略を変更中

実績　営業収益 推移

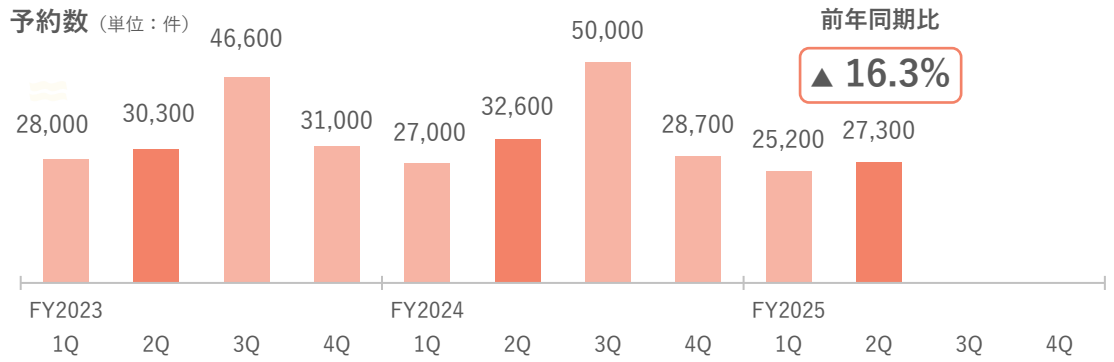
営業収益（単位：百万円）

※ OTAの予約による手数料収入以外の収益として、政府観光局プロモーション案件や広告による収益獲得を推進



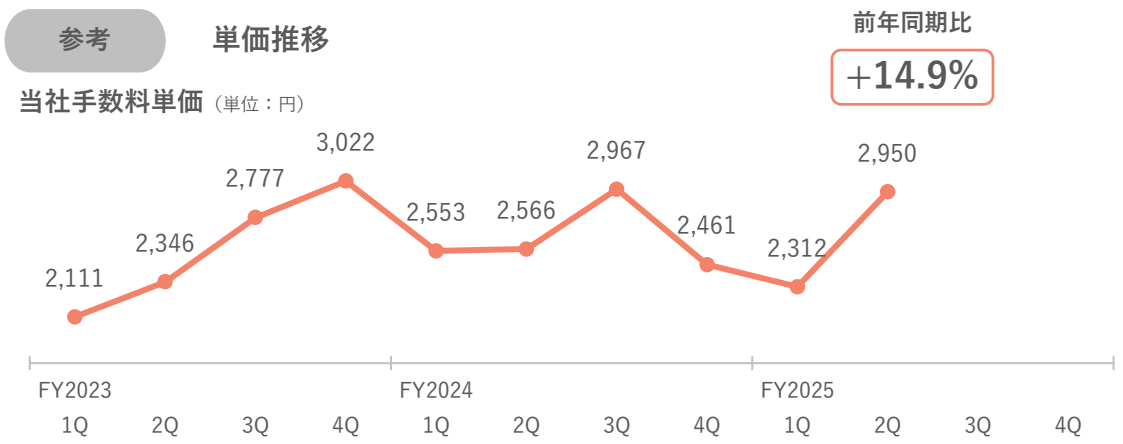
参考　予約数 推移

予約数（単位：件）



参考　単価推移

当社手数料単価（単位：円）



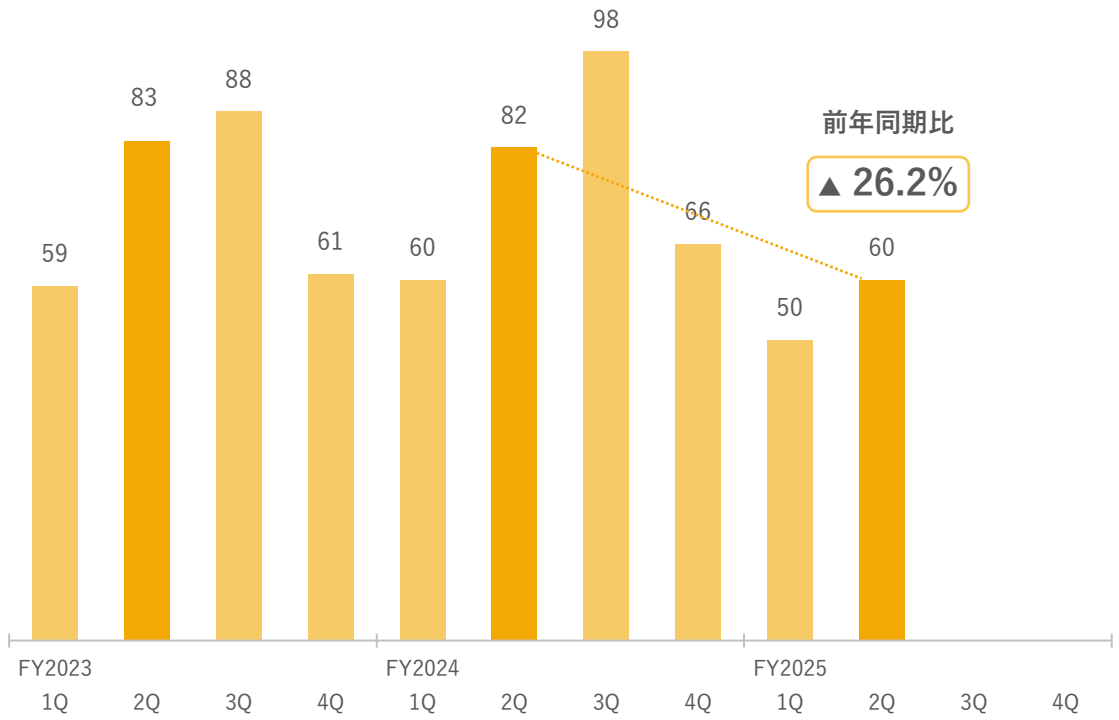
Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

事業別の状況 HawaiiActivities

今年に入り米国本土の旅行者数は減少傾向。コロナ以前より売上は増加しているものの、競争激化により予約数が減少傾向。生産性を高め利益を確保しつつ、AI活用によるチャネル拡大や新たな地域開拓などで戦略方針を変更予定

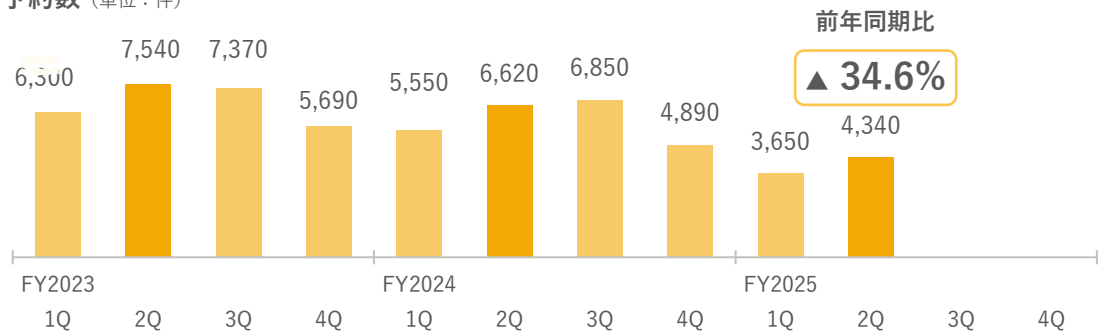
実績 営業収益 推移

営業収益（単位：百万円）



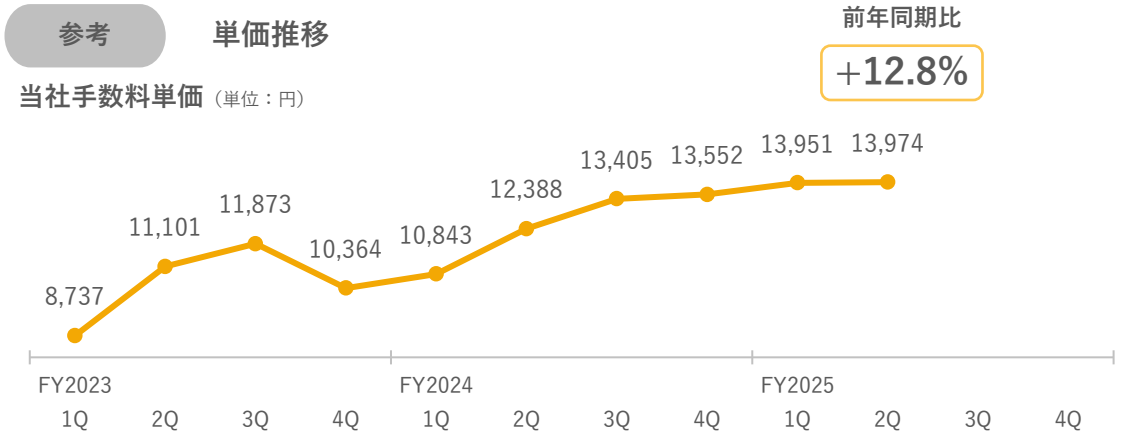
参考 予約数 推移

予約数（単位：件）



参考 単価推移

当社手数料単価（単位：円）



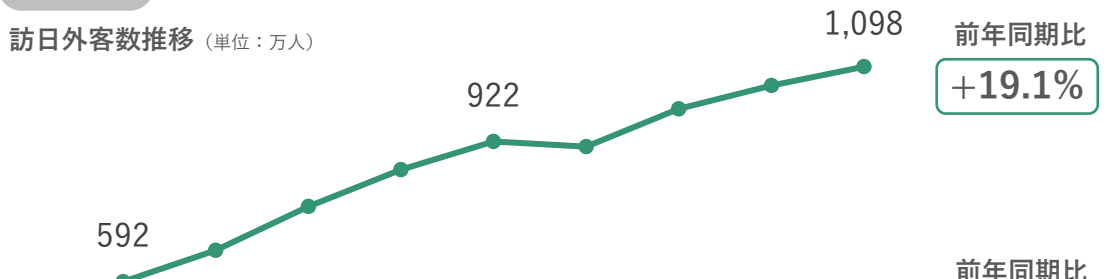
Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

事業別の状況 LINKTIVITY

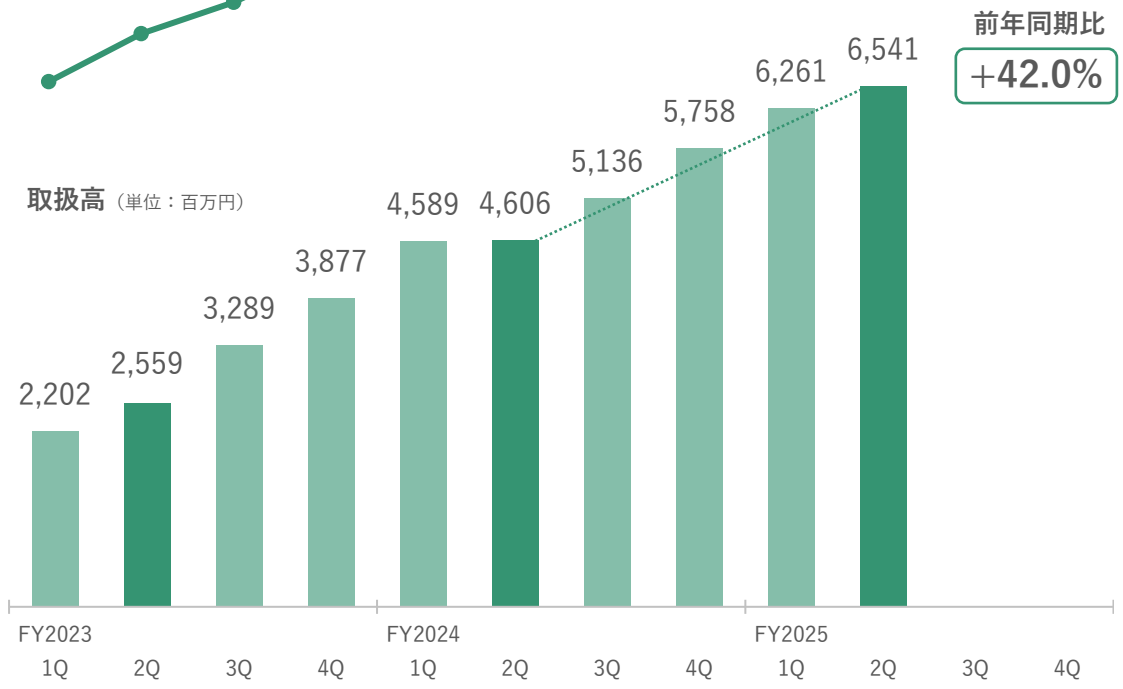
訪日外客数の増加に連動し、取扱高も順調に推移
市場成長、取扱商品の拡充、企業間連携、事業領域拡大により今後も取扱高を拡大

実績 取扱高および訪日外客数の推移

訪日外客数推移（単位：万人）

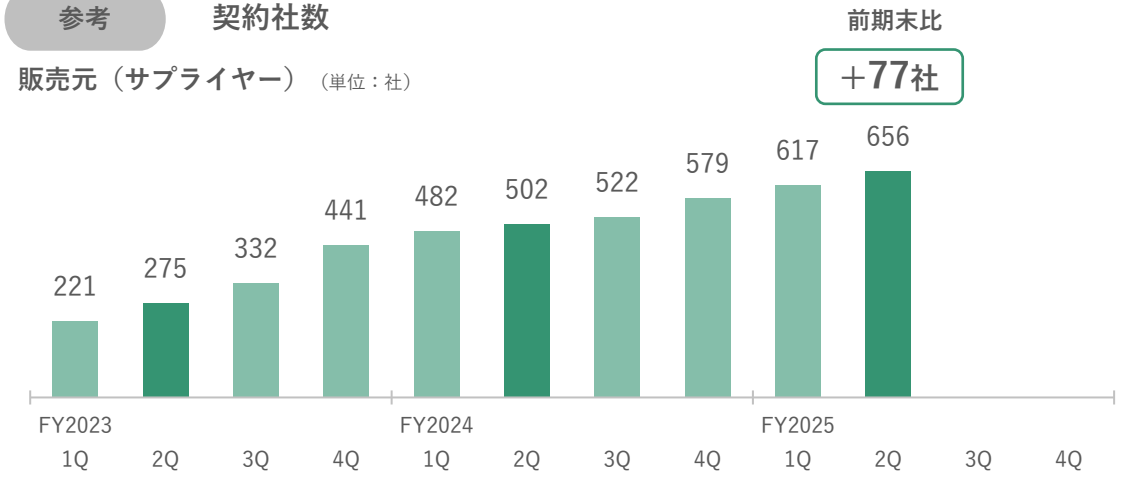


取扱高（単位：百万円）

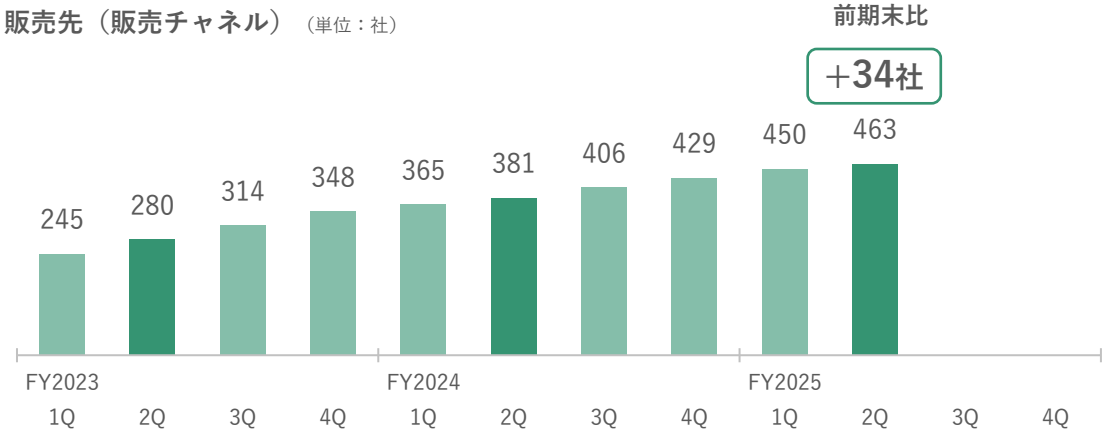


参考 契約社数

販売元（サプライヤー）（単位：社）



販売先（販売チャネル）（単位：社）

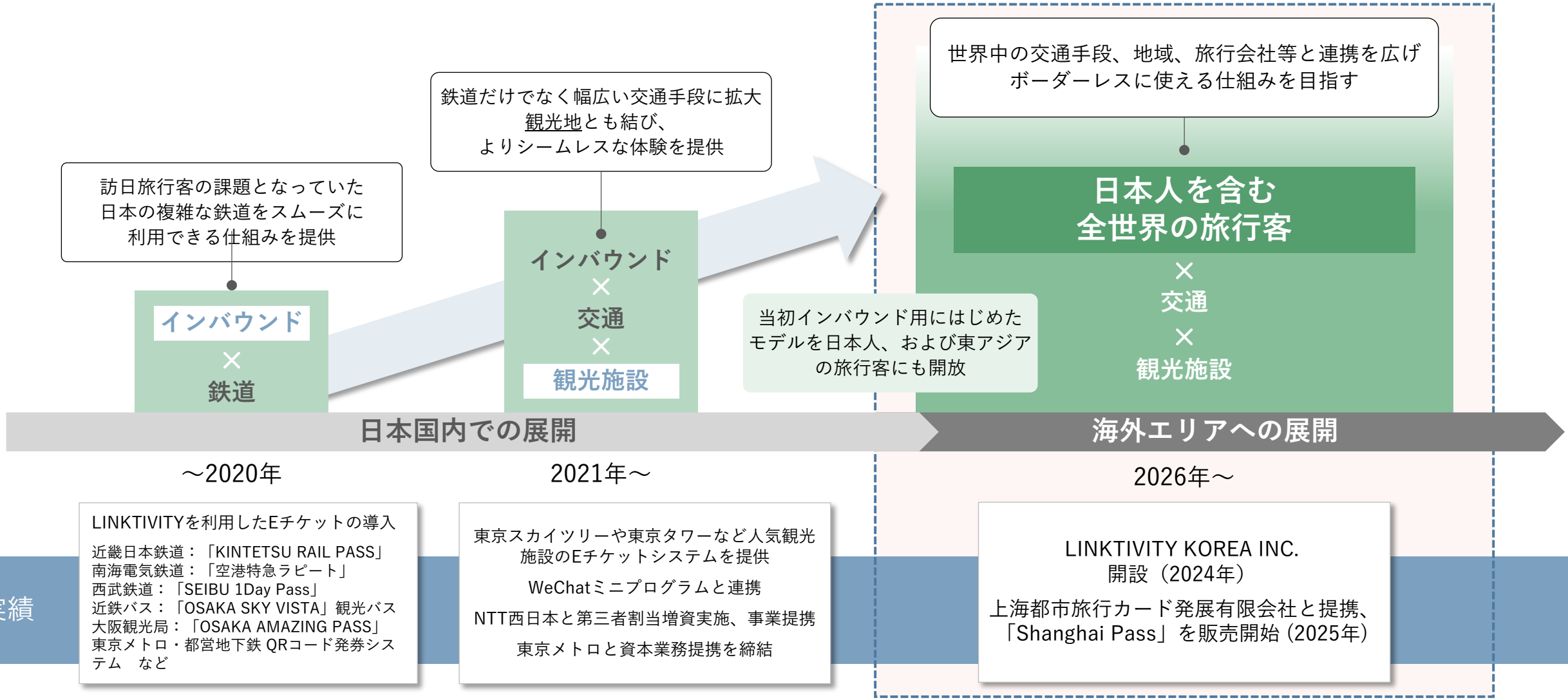


Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

LINKTIVITY ビジネスモデルの拡大

旅行業界と消費者をテクノロジーでつなぐ

外国人旅行客向けの鉄道利用簡便化から、全世界の旅行客と地域、交通をーシームレス。ボーダーレスにつなぐシステムに



Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

LINKTIVITY TOPICS

鉄道各社との連携強化および、中国人観光客のタクシー利用に便利なWeChatミニアプリと連携

2025.3.31

近鉄・南海・名鉄が乗り放題 デジタルフリーきっぷ販売開始

「３・３・SUNデジタルフリーきっぷ」

- 関西・東海エリアを自由に周遊。高野山、奈良、伊勢志摩、名古屋、犬山など各社沿線の多くの観光地を巡ることが可能
- 関西国際空港と中部国際空港のアクセスを含み、空港利用客の利便性拡大

2025.5.9

京王電鉄 訪日外国人向け 企画乗車券３商品販売開始

- 京王電鉄が展開する訪日外国人向け企画乗車券を5月12日より販売開始
- デジタルチケットでより便利に

新宿から約50分、パワースポットとして有名な高尾山を周辺施設と共に楽しめる

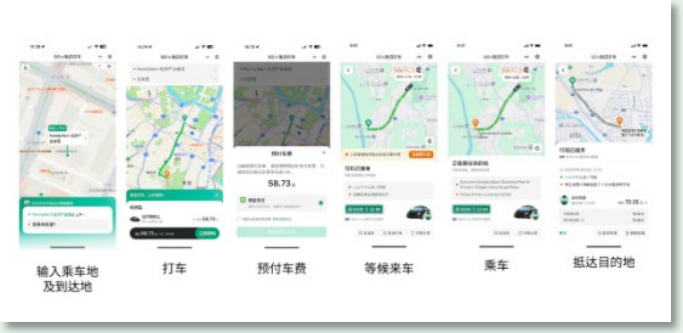
- 『Mt.Takao+Keio 1-day Ticket』
- 『Mt.Takao+Keio1-day Ticket -Ukai Toriyama-』

よみうりランドワンデーパスなど京王相模原線沿線で楽しめる

- 『Keio Amusement Ticket-Yomiuri Land-』

2025.5.21

GO × テンセント × LINKTIVITY タクシー配車・支払いをWeChatで



- アプリ不要、WeChat内で簡単に配車・決済
- 全国主要都市をカバー、多様なニーズに対応
- ユーザーのニーズに的確に応え、日中間のデジタル観光を推進
  - 「言語の壁がない」「支払いが簡単」「使い方が直感的」なサービスへの中国人観光客のニーズへ対応

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

2025年12月期 業績予想

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

2025年12月期 業績予想

海外旅行事業の収益改善、リンクティビティの事業拡大により営業収益は前期比+25.6%の54億円を計画

OTA事業の営業利益率改善のための人材採用及び広告投資の圧縮、徹底したコストコントロールにより、確実に黒字化を達成する

単位：百万円	2024年12月期	**2025年12月期（予想）**	YoY
営業収益	4,304	5,400	+25.4%
営業費用	4,480	4,900	+9.4%
営業利益	▲175	500	―
経常利益	▲298	480	―
親会社株主に帰属する当期純利益	▲407	400	―
1株当たり当期純利益(円)	▲11.18	10.93	+22.11円

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

2025年事業計画 事業環境の前提

2025年 為替見通し

USD レート：145 - 155円 （大幅な円高シフトはしないと想定）

2025年 市場成長率見通し

		2024年比	vs 2019	事業環境補足
海外旅行マーケット	VELTRA	+6〜13%	70%	・渡航者の回復は2024年12月の2019年比約70%で停滞 ・アジア方面の人気継続 ・リーズナブルな価格帯の消費ニーズは継続
国内旅行マーケット	VELTRA	±0%	-	・宿泊費の高騰は続くが、2024年と同水準の需要と想定
インバウンドマーケット	LINKTIVITY	+15%	-	・円安継続と中国マーケット回復により引き続き成長
グローバルマーケット	HAWAII ACTIVITIES .COM A VELTRA® Company	±0%	-	・グローバルの旅行市場は3〜5%の成長が見込まれるが、当該事業の環境としては2024年と同水準の需要と想定

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

中期経営計画及び今後の取組み

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

「国内市場」から「グローバル市場」へ

従来のKPI「ファン100万人」は日本人旅行者の複数回利用を前提としていたが、グローバル市場を目指すにあたりこのKPIを変更。基幹事業であるOTA事業の収益拡大と利益率の改善、LINKTIVITY事業とインバウンド市場の拡大を足掛かりに、グローバル市場への本格展開を目指していきます。

	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027
	投資を開始	利益最大化を実現する事業ポートフォリオの構築		
GOAL	営業収益の再構築	営業黒字の確保	過去最高 営業利益	グローバル売上比率 30%
		テクノロジー・マーケティング投資の強化		ROE 20%超
ACTION	**OTA事業** • 認知度の向上 • 利用頻度の向上 • 日本語ツアー強化 **LINKTIVITY** • サービス領域の拡大	**OTA事業** 収益拡大、利益率改善 **LINKTIVITY** ・既存事業の黒字化 ・事業領域拡大の投資 ＜**全社**＞ 生産性の向上	■ **グループ収益 CAGR 25%の実現** ■ **事業ポートフォリオの拡大** ・リンクティビティの海外展開 ・インバウンド領域の事業拡大 ■ **営業利益率の向上** ・テクノロジー活用による事業効率化 ・人件費率、広告費率の低減 ■ **ガバナンス強化（プライム市場上場基準）**	

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

中期経営計画サマリー

経営計画

FY2027において

営業収益	営業利益	営業利益率
84億円	14億円	17%
(対2024 +95%)		

最重要指標

ROE	CAGR	グローバル売上比率*
20%	25%	30%
	(2025-27年)	(2027年)

主力事業戦略

- **OTA事業**: 日本人向けマーケティング＆Tech部門を強化し収益力を強化
- **LINKTIVITY**: インバウンドB2B事業をさらに拡大
- **新規事業**: インバウンド及びグローバル売上の拡大

経営戦略

- 高効率経営の実現
- グローバル観光産業での継続的な成長の実現
- ガバナンス＆コーポレート機能の強化

* グローバル売上＝リンクティビティ、HawaiiActivities、VELTRA OTA、新規事業における日本人以外の総売上

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

ベルトラが創造する新しいクルーズ体験①（クルーズ事業への参入について）

クルーズ市場の現状と可能性

22万人
日本人クルーズ人口
2024年の日本人クルーズ利用者数
（前年比15％増）

144万人
訪日クルーズ旅客数
2024年訪日クルーズ客数
（前年比４倍の急成長）

100万人
国交省2030年目標
国土交通省が掲げる2030年までの
日本人クルーズ人口目標

現状の課題
- 主流は旅行会社経由
- シニア層向け高額・長期滞在クルーズが中心
- OTA(オンライン販売)は未成熟かつ未開拓領域

成長機会
- 未経験層（若年層・家族層）の掘り起こし
- アジア圏を含む国際的な販売展開
- AI時代でしかできないクルーズプラットフォーム

出展 国土交通省: クルーズ振興（日本のクルーズ等の動向） / 日本のクルーズ市場の持続的発展に向けた有識者検討会

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

ベルトラが創造する新しいクルーズ体験②（クルーズ事業への参入について）

世界中のすべてのクルーズをいつでもで気軽に予約・参加できるプラットフォームを構築

AIで全商品を作成	コースは全てAIが生成。リアルタイムで全てのコースを販売可能
グローバル販売	日本人だけでなくアジア全域のグローバル旅行者を対象
幅広い商品ラインナップ	1泊2日・1万円未満のクルーズから豪華アドベンチャーまで
ダイレクト接続	クルーズ会社のデータベースとAPI連携しリアルタイム予約
新規顧客層開拓	シニア層に加え、若年層・家族層など未経験層へアプローチ
寄港地の体験商品販売	地方の寄港地観光を活性化する旅中体験を提供

ベルトラは2028年までに約2万人、50億円規模のクルーズFIT市場を創出することを目標
この数字が実現する時はクルーズがより身近な旅行選択肢になる市場に変化する事を意味します

Copyright © VELTRA Corporation All Rights Reserved.

VELTRA changes TRAVEL

ベルトラは、現状のビジネスモデルの収益を着実に回復させながら、
未来の旅行市場に必要とされるサービスを創り、進化を続け、
世界中の人々に「心ゆさぶる体験」を届けてまいります。

引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。